

市内5中学校生徒による共演
お盆を彩った
中学生ダンスパフォーマンス



主な内容

7月定例会市議会の概要	2 ページ
一般質問	3~8 ページ
7月定例会審議結果	8~9 ページ
議会人事	10 ページ
常任委員会審査	11 ページ
意見書概要	11 ページ
各委員会報告	12 ページ

おおの 議会だより

No.168 平成22年8月25日

発行：大野市議会
〒912-8666 福井県大野市天神町 1-1
Tel 0779-66-1111 Fax 0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>
編集：議会だより編集委員会

7月 定例会市議会の概要

第三六九回定例会市議会は、七月十二日から二十九日までの十七日間の会期で開催されました。

今定例会では、市長から提出された一般会計補正予算案、条例の制定・改廃、副市長の選任についてなど全十七議案、議員提出の市会案三件、そして皆さまから提出された請願三件・陳情七件などについて審議しました。各議案等の審議結果は、八・九ページに掲載しています。

主な議案

条例

○大野市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例（議案第四十三号）

（主な内容）

県が子ども医療費助成制度を拡充し、本年十月一日から対象を小学三年生までとすることに伴い、市では、さらにその対象が中学三年生まで引き上げられるとともに、小学生以上には自己負担金が導入されます。自己負担金は医療機関ごとに、入院の場合は一日につき五百円（一月につき四千元）を限度に、また通院の場合は一月につき五百円を限度に必要となります。いずれも、この条例の施行日（本年十月一日）以後の診療等に係る医療費について適用され

○大野市地域振興基金設置条例（議案第三十八号）

（主な内容）

地域振興を図る事業の財源を積み立てることを目的とする基金が設置されます。この基金は、発電所所在市町に対する県からの地域振興交付金を主な財源としています。

予算

▼二十二年度一般会計補正予算（第一号）（議案第三十六号）

今回の補正予算では、市長が二期目の重点施策として取り組むこととしている事業に係るものとして、保健・医療・福祉サービス拠点施設の整備事業に四億四千七百六十六万三千元、市庁舎建設基本計画策定事業に二百五十万一千円、越前のおの地域づくり交付金事業に千四百三十六万円が新たに計上され、子ども医療費助成事業（旧乳幼児医療費助成事業）に千三百十三万二千元が追加され

ました。そのほかの事業として、旧ツヅキボウ福井株式会社大野工場跡地の用地取得および整備に一億三千八百五十万円、越前大野駅前整備事業に三千九百二十七万二千元が計上されたほか、予防接種事業に八百六十四万円、華のジュータン形成事業に千四百五十四万七千円などが追加されました。

また発電所所在市町に対する地域交付金として県から交付される七億六千三百万円を活用して、今回新たに設置された大野地域振興基金への積立金として八億円が計上されたほか、国土交通省所管の個別補助金が社会資本整備総合交付金として一本化されたことに伴う予算の組み替え調整が行われました。これらの補正により、今回十六億六千四百四十七万八千円が追加され、一般会計予算の累計が百七十七億四十七万八千円となりました。

▼二十二年度下水道事業特別会計補正予算（第一号）（議案第三十七号）

国土交通省所管の個別補助金が社会資本整備総合交付金に統合されたことなどに伴う予算の組み替え調整により、四百二十万八千円が追加され、下水道事業特別会計予算の累計が十億四千九百一十四千円となりました。

その他

▼土地及び家屋の売買契約の締結について（議案第四十六号）

市所有の旧ツヅキボウ福井株式会社大野工場跡地の土地三筆（七板ほか）および家屋六棟について、ファーストウッド株式会社（本社・福井市）への売却が決定しました。契約金額は一億円です。

▼除雪車更新事業物品売買契約の締結について（議案第四十七号・第四十八号）

市保有の除雪車の老朽化により、議案第四十七号では、ロータリー除雪車一台・装備品一式を二千四百十五万円、また議案第四十八号では、除雪ドーザー一台・装備品一式を千四百九十一万円それぞれ購入することになりました。



審議日程

- 13日 本会議（議席の変更・指定、会期の決定、常任委員会・議会運営委員会委員の選任、中部縦貫自動車道・国道158号整備促進特別委員会の委員定数の変更及び委員の選任、議案上程・提案理由の説明、副市長の選任について）
- 14日～19日 休会
- 20日 本会議（一般質問）
- 21日 本会議（一般質問、請願・陳情上程、各案件委員会付託）
- 22日 常任委員会（産経建設）
- 23日 常任委員会（民生環境）
- 24日～25日 休会
- 26日 常任委員会（総務文教）
- 27日 特別委員会（中部縦貫自動車道・国道158号整備促進、議会等改革）
- 28日 休会
- 29日 本会議（各委員長報告・質疑・討論・採決、特別委員長報告、市会案上程・採決）

これらの土地・家屋は、本年五月に開催された第三六八回臨時市議会の議決を経て、福井地方裁判所が行う期間入札により、市が八千三百万円で購入したものです。

一般質問

今回は十議員が、市長から提出された議案や市政全般について質問を行いました。

7月20日(火)					日程
(新国会) 松田信子 議員	(日本共産党) 榮正夫 議員	(清新会) 川端義秀 議員	(創造みらい) 谷口治衛 議員	(新国会) 本田章 議員	質問事項
① 中心市街地活性化について ② 水辺の集いの活用について ③ 田村又左衛門家屋敷の活用について	① 地域の再生・活性化について ② 福井社会保険病院の存続について ③ 築城四三〇年祭について	① 市長の政治姿勢について ② 新庁舎と庁舎周辺整備について	① 国と地方の関係について ② 市民力・地域力の向上への取り組みについて ③ 中部縦貫自動車道、国道一五八号について	① 市長選挙の自己総括について ② 第五次大野市総合計画の策定について ③ 新市庁舎の建設について	頁
5頁	5頁	4頁	4頁	3頁	
7月21日(水)					日程
(日本共産党) 新家竹雄 議員	(清新会) 山本鐵夫 議員	(日本共産党) 浦井智治 議員	(創造みらい) 石塚淳子 議員	(清新会) 高岡和行 議員	質問事項
① 就学援助制度の改善について ② 特養介護施設待機者の解消について ③ 子宮頸がん予防接種について ④ 買い物バス運行の計画について ⑤ 障害者福祉の充実について ⑥ 指定管理施設の修理費について ⑦ 和泉地区振興策について	① 第五次大野市総合計画について ② 新庁舎の建設について ③ 福井社会保険病院の存続について ④ 大野市景観計画について	① 政府の「地域主権改革」は地方自治の本旨をゆがめるのではないか ② 子ども医療費助成について ③ ツツキボウ福井跡地の売却について	① 新学習指導要領への対応について ② 真名川水辺の集校について ③ 道の駅について ④ 二巡目国体について	① 市の財政について ② 市の教育について ③ 保険・医療について ④ 結ステーション等について	頁
8頁	7頁	7頁	6頁	6頁	



一般質問
(新国会)
本田章 議員

市長選挙の自己総括について

質問 告示三日前に相手候補が出馬表明するという、あまりにも唐突な選挙戦であったと感じているが、市長自身はこの選挙戦をどのように自己総括しているのか。

答弁 今回選挙戦になったことにより、今後四年間に進めたい具体的な事業などを市民に強く示すことができた上、街頭演説や個人演説会において、多くの市民とじかに顔を合わせることができ、さまざまな意見を伺うことができた。

新市庁舎の建設について

に仕上げるのが最も重要では。

答弁 現在、基本構想案の策定作業を進めている。この基本構想の中には、十年後の市の将来像や人口の見通し、基本目標などを盛り込む予定をしている。これまで経験したことがない人口減少時代の到来や長引く経済状況の低迷、財源確保の不透明さ、地域主権への対応など、各自自治体が厳しい状況にある中、生き残りをかけて切磋琢磨している現実を認識し、これらを直視した構想とする必要がある。

意見の中には、今後の施策に対する期待ばかりでなく、将来に対する不安や閉塞感を訴える生の声もあり、こういう声を真摯に受け止め、今後の政治活動の中で解決すべく努力する。

第五次大野市総合計画について

質問 従来の総合計画は定期的に見直すものの、現実から多少かけ離れた夢、空想の部分があったような気がするが、現実性と危機感を併せ持つ計画

答弁 平成二十年度に策定した保健・医療・福祉サービス拠点施設整備基本計画では、拠点施設と市庁舎の連携と一体性の確保に努めることを管理運営の基本方針とし、庁舎建設の検討を進めるに当たっては、拠点施設との連携が維持・強化されるよう配慮して整備することとしている。





一般質問
谷口 治衛 議員
(創造みらい)

国と地方の関係について

質問 地域主権戦略大綱が閣議決定されたが、市政運営への影響は。

答弁 地域主権戦略大綱では、住民に身近な行政は地方公共団体が自主的かつ総合的に広く担うとともに、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組みることができるようにするための改革と定義しているが、権限移譲に伴う財源の確保がきちんとされるのか等の点について注視していく。

また基礎自治体の役割・責任が増加することが考えられる中、市民参加型の市政の推進が不可欠であると考ええる。

「市民力」「地域力」の向上について

質問 行政と市民とが協働して、まちづくりを進めるための「市民力」「地域力」の向上に、どのように取り組むのか。

答弁 自治会を含めた地域づくり団体への財政支援と、NPO等の公益活動団体との協働事業を考えている。

地域づくり団体への財政支援では、

「越前おおの地域づくり交付金事業」により、公民館単位の地域づくり団体に対してソフト・ハード事業全般にわたり補助を行うことで、住民主体による柔軟な発想での事業展開が期待できると考える。

NPO等の公益活動団体との協働事業については、大野市市民協働推進委員会を開催し、市民協働指針の策定について協議いただいている。

中部縦貫自動車道と
国道一五八号について

質問 中部縦貫自動車道と国道一五八号の進捗状況と今後の見通しは。

答弁 中部縦貫自動車道の勝山・大野インター間は、平成二十四年度の供用開始に向けて工事が進められており、福井・大野インター間の二十八年度の供用開始を強く要望している。

大野東・和泉インター間は事業化され、本年度秋ごろには道路予備設計が完了する見込みであるが、事業化されていない残りの区間についての早期事業化を訴えていく。

国道一五八号は、上新橋・境寺間の二十三年度のバイパス整備完成に向けて進んでいる。今後、福井市との連携を一層強め、残る区間の一日も早い計画策定を県当局に働き掛けていく。



一般質問
川端 義秀 議員
(清新会)

市長の政治姿勢について

質問 市長二期目の取り組みを聞きたい。

答弁 「越前おおの総ブランド化」をキーワードに「越前おおの元気プラン」をより一層推進するため、まず本年度中に第五次大野市総合計画を策定し、本市の今後十年間のまちづくりの方向を示したい。

「越前おおの元気プラン」の四本の柱に沿って二期目に展開する施策として、まず「人が元気」では、教育の充実に努めるとともに少子化・高齢化対策をより一層推進するほか、災害に強い安全で安心なまちづくりを推進したい。「産業が元気」では、必要な社会資本整備をより一層進めるとともに、中心市街地の活性化や産業の振興、雇用機会の拡大に努めたい。

「自然が元気」では、恵まれた自然環境を後世に伝えていくため、よりよい環境整備に努める。特に湧水文化の保全については、湧水文化再生に向けた計画づくりを進め、推進すべき事業内容を

とその事業主体の明確化を図りながら諸施策を展開する。「行財政改革」では、財政の健全性確保に向けた取り組みを進めたい。

また市職員の資質向上、行政力アップを図るため、職員力・組織力強化に努める。さらに第六次大野市行政改革大綱に基づき、無駄を省いた行政運営に努める。

新庁舎と庁舎周辺整備について

質問 庁舎建設をどのような方針・方向性で進めるのか。

答弁 市民が気軽に集い、憩い、学ぶことができる機能を備えた庁舎とした。また市民の目線に立った行政サービスの提供と市民の利便性の向上、災害時の防災拠点としての機能の強化、ユニバーサルデザイン化、ワンストップサービスの拡大、地球環境への負荷軽減も重要であるし、地域主権の進展に伴い予想される事務量の増加や多様化・高度化する市民ニーズへの対応、市民の誰もが利用しやすい庁舎整備とすることも重要である。

市庁舎建設基本計画策定事業において、庁舎整備に加え、庁舎周辺の一体的な整備についても十分検討し、基本構想を策定したい。





一般質問
 榮 正夫 議員
 (日本共産党)

地域の再生・活性化について

質問 市長は「地域力」「市民力」を高めることを今定例会の提案理由で述べているが。

答弁 「地域力」「市民力」を高める理由については、本市においても核家族化の進展、生活スタイルや価値観の多様化が進み、地域における連帯感が薄れ、地域の課題を地域で解決するという「地域力」が低下していることが要因であると考え、また行政においても人口減少や長期の景気低迷で厳しい財政状況が続くことが予想されることから、これからは自治会やNPOなどの公益活動団体と連携し、市民主体のまちづくりを進めていくことが必要であると考えるためである。

そのため、市と市民のそれぞれの役割分担を明確にした上で「市民力」「地域力」を高める仕組みづくりのため、市民協働推進委員会を開催し、ガイドライン「市民協働指針」の策定に向けて審議いただいている。

福井社会保険病院の存続について

質問 社会保険病院等の運営を、RF O(独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構)から移管するための「独立行政法人地域医療機能推進機構法案」は、衆院では、自民党・みんなの党が反対したが通過し、参院では、鳩山首相の辞任でごたつき、廃案になっている現在、市長の提案理由説明では、傍観者のみしか聞こえないが。

答弁 厚生労働大臣は、閣議後の記者会見で、独立行政法人地域医療機能推進機構法案について「最優先でお願いしたい。関係方面と交渉している」と述べ、秋の臨時国会に再度法案を提出し、早期の成立を目指したいとの考えを示しており、今後、法案の成り行きを注視したい。

福井社会保険病院は、本市にとつて、地域の中核病院として、また地域医療の推進に果たす役割は、大きいものがあるので、市としては同法案の情報収集に努めるとともに、機会あるごとにあらゆる関係機関を通じて、法案成立を国に要望したい。



福井社会保険病院(勝山市)



一般質問
 松田 信子 議員
 (新国会)

中心市街地活性化について

質問 観光客の入り込み数の現状と目標達成の見通しは。

答弁 平成二十一年は、四十二万五千五百人(前年対比四割増)。今後は、越前大野城築城四三〇年祭等を契機に観光客の増加が見込まれ、目標の五十万人は達成できる。

質問 観光客が本市に滞在する時間帯、人気スポットは。

答弁 滞在時間帯は、七間朝市が目的の方は午前中、市内散策が目的の方は午後中心が大半。人気スポットは、越前大野城、結ステーション内の結楽座、時鐘等。

質問 築城四三〇年祭終了後の交流人口を増やす対策は。

答弁 まちなか遠足誘致やシルバードイジまちなか散策誘致事業等で交流人口の拡大を図る。またエコフィールドでの環境保全、周辺農家での農業体験、和泉地区や阪谷地区での自然体験など、エコ・グリーンツーリズムを推進し、今後とも都市と農村の交流を進

め、これらの参加者を中心市街地へ誘導していく。

質問 結楽座の貸し出しワゴンの活用は。

答弁 定期的なワゴンのイベントや市内農商工品の即売会などの実施を検討する。

質問 結ステーションの施設内に授乳できる場所を確保し便宜を図るべき。

答弁 授乳場所が必要と考えるので設ける。

水辺の楽校の活用について

質問 水辺の楽校の意図するものは。

答弁 基本理念は「ふるさとの川・真名川の魅力ある水辺の復元」、基本方針は「生物のすむ場にしよう」「ふれあう、遊ぶ、学ぶ、育てる場にしよう」「安心して豊かな場にしよう」。

質問 供用開始からこれまでの利活用の実態は。

答弁 水辺探検隊や水辺の石などを活用したものづくり、川遊びをする子供たちの養成塾等を実施している。

田村又左衛門家屋敷の活用について

質問 一般公開の計画は。

答弁 整備完了後の平成二十五年から、庭園・建物・古文書・什器類の一般公開を予定している。



一般質問
高岡 和行 議員
(清新会)

市の財政について

質問 基金利活用においては大いに吟味していく必要があるが、利活用の目的は。また地域力向上での自主財源アップについての取り組みはどのようなか。

答弁 基金については「地方公共団体は条例の定めるところにより、特定の目的のために基金を設けることができる」と規定しており、今回、保健・医療・福祉サービス拠点施設の整備等に使用したい。

本市の一般財源の半分以上の割合を占める地方交付税・特別交付税が先行き不透明な状況にあるのは確かである。地方が自主性のある行政運営を推進していくことのできる財源保障として、地方交付税の安定的な確保が図られるよう、今後とも関係当局に対して強く働き掛けていく。

自主財源確保の具体的な施策として、適正な課税に基づく市税の収納強化に取り組む。また新たな税源確保のために企業誘致に取り組む。

市の教育について

質問 中央教育審議会答申の「一クラス四十人から三十五人への削減」についての市の考えは。

答弁 適正と考える。

質問 市内小中学生の平均学級人数は。

答弁 小学校は二十二・五人、中学校は二十四・四人である。

質問 大野高校のコース分けがスパー特進・特進・進学になると聞き及んでいるが、その他の専門は総合産業高校（現大野東高校）になるとのことだが、どうなのか。

答弁 市教育委員会としては、進学を目指す普通科は大野高校、資格取得が可能な職業系専門学校は総合産業高校と考える。

質問 市教育委員会は、今後少子化が進む小中学校の現状について議論しているのか。

答弁 いろいろ議論をしていくというところを確認した。



道の駅について



一般質問
石塚 淳子 議員
(創造みらい)

質問 「道の駅」というブランドは大変大きいと思うし、市販地図にも明記され、いろいろな波及効果が期待される。結ステーションを「道の駅」として登録しては。

答弁 結ステーションは、人・情報の結節点となる場所で、越前おおのの魅力を感じさせる出発駅となり、来訪者をまちなかへ誘導する場所であり、二十四時間のサービスを提供する施設として設置したものではないため、道の駅の目的とは異なることから、道の駅に登録すべき施設ではない。



質問 道の駅「九頭竜」のほかに、市内に道の駅を造る計画は。

答弁 現在のところ計画はないが、将来的には市長が掲げている「越前おおのまるごと道の駅」というようなことも考えており、中部縦貫自動車道の供用開始と併せて、そういった構想も持っている。

一巡目国体について

質問 正式競技は、国体施設競技基準を満たした施設でなければ開催できないと聞いているが、国体の会場となり得る市内の既存の競技施設はどこか。

答弁 競技種目にもよるが、本市所管の施設としては、エキサイト広場総合体育施設が基準適合施設である。

質問 近日中には各種競技団体や市町に意向を聞く作業が始まると聞いているが、競技会場誘致について、市の意向を決定するのはいつか。

答弁 県では七月末をめどに、市町の開催希望種目と、県体育協会加盟の各種目団体が希望する開催地の意向調査を行い、平成二十四年度末までには、それぞれの競技種目の開催地を決定したいとのこと。

本市の開催希望種目については、現在、市体育協会や協会加盟の種目団体と相談している。



一般質問
浦井 智治 議員
(日本共産党)

政府の「地域主権改革」は地方自治の本旨をゆがめるのではないか

質問 政府の地域主権改革は、国の財政赤字削減、社会保障費削減が目的で、地方交付税を抑制して地方に負担を押し付けるものでは。

答弁 地方主権改革については、権限に見合う財源が確保されるのか、地方に財政負担を強いることにならないかなどを注視しなければならぬと思っ

ている。具体的な制度設計に当たっては、地方の意見・要望を十分聞き入れる場が必要である。

質問 地域主権改革で地方自治法を見直して、議員が副市長になったり、議会が決算だけを審査するなどとしているが、問題があるのでは。

答弁 現時点では検討段階なのでコメントは控えたい。見直しに当たっては、地方の意見・要望を十分聞き入れる場が必要と考える。

子ども医療費助成について

質問 市は本年十月より、子ども医療費の助成を中学三年生までにするとしており、大いに評価する。しかし、小学校入学前までは無料であるのに、小学校に入ると一部負担金が必要になる。一部負担金は問題ではないか。

答弁 市では本年十月より、子ども医療費助成を中学三年生まで実施する。しかし、小学一年生から中学三年生までは一部負担を導入し、通院では一医療機関当たり一月五百円、入院では一医療機関当たり一日五百円、一カ月当たり八日間・四千円を上限とする。厳しい財政状況の中、一部負担していただくことで、より多くの子育て世帯の負担を軽減したい。

ツッキボウ福井跡地の売却について

質問 四月に行われた旧ツッキボウ福井跡地の裁判所の競売に、ファーストウッド社は参加せずに、市が落札してから購入したいと言ってきたのは、市に屋根修理や調整池を造らせることが目的ではなかったのか。

答弁 ファーストウッド社がなぜ競売に参加しなかったのかは、企業のことなので分からない。あくまでも市が競売で落札してから交渉を始めた。



一般質問
山本 鐵夫 議員
(清新会)

第五次大野市総合計画策定について

質問 十年後の本市のあるべき姿とは。また策定作業を進めるに当たり注視すべきことは。

答弁 市内の各界・各層から参加いただいている委員に市職員を加えた策定幹事会の「人」「産業」「自然」「行政」「政改革」の各部会における討議の中で、本市の魅力を最大限に引き出し、元気な大野となるよう将来像を描いている。

注視すべきことは、人口減少時代の到来、低成長経済の定着、雇用情勢の低迷、拡大する社会保障の問題、高度情報化社会の進展などが挙げられる。激化する地域間競争の中で、十年後の本市のあるべき姿をしっかりと描き、実現できる総合計画に仕上げていくことを念頭に置くことが最も肝要であると考えている。

新庁舎の建設について

質問 建設については十分理解できるが、場所・位置について審議会等で意

見集約ができていないのか。

答弁 庁舎等建設基本調査においても、保健・医療・福祉サービス拠点施設と隣接して建設することが望ましいとしている。メリットとして、新たに用地を確保する必要がないこと、現庁舎で執務を行いながら新庁舎の建設ができること、移転が効率的であること、中心市街地活性化への寄与が期待されること、総合的なワンストップサービスが実現でき、市民の利便性向上と質の高い行政サービスの提供が可能になる。

市長は選挙を通じ、拠点施設に隣接して新庁舎を整備したいと市民に訴えている。

大野市景観計画について

質問 景観を損ねているものの対処は。

答弁 持ち主の管理が行き届いていない空き家や空き地が景観を損ねる要因になっていることから、景観形成基準に著しく適合しない建物等について、景観条例に基づき所有者に対し助言や指導を行っているが、経済的理由などにより理解が得られないのが実情。

今後は、良好な景観を阻害していると認める建築物などの所有者に対し、必要な措置を講じるよう助言・指導を強めたい。





一般質問
新家 竹雄 議員
(日本共産党)

就学援助制度の改善について

質問 父子家庭も児童扶養手当が支給されることになったが、就学援助対象になるか。

答弁 本年八月一日より、父子家庭の児童扶養手当受給者も就学援助の対象となる。

質問 申請時の民生委員所見を検討する考えはないか。

答弁 民生委員の所見の廃止は、他市の状況を踏まえ研究する。

特別養護施設の待機者解消策について

質問 二百人を超す待機者解消策はあるか。

答弁 施設の増床や新設のほか、在宅サービスの充実と介護予防教室や介護予防ケアマネジメントの充実など、介護予防サービスの充実に取り組む。

子宮頸がんワクチンの予防接種について

質問 本市でも実施する考えはないか。

答弁 ワクチンの費用助成は考えている。

ない。子宮頸がんの完全予防には、定期的な検診が必要。検診の啓蒙をする。

買い物バス運行計画について

質問 和泉地区社協の買い物バスは好評だ。他地区にも広げる考えはないか。

答弁 地区区長会などからの要望があれば、民間事業者に対して移動販売車の運行範囲の拡大を働き掛ける。

障害者福祉の充実について

質問 障害者の地域移行支援は、受け皿づくりが大切だ。行政の積極的な姿勢を求める。

答弁 グループホームなどは地域で生活するための重要な施設であり、関係機関・団体と連携し、情報提供などの側面的な支援を講ずる。

質問 障害者の相談件数の多さから、相談支援専門員の労働過重解消対策はあるか。

答弁 相談支援専門員の負担が大きいため、相談支援事業所と連携を強化して対応する。

質問 行政が取り組む障害者の就労支援として、政策的随意契約の実施が必要だ。進行状況は。

答弁 政策的随意契約は、契約可能な業務があるか、関係課と協議する。

質問 地域活動支援・委託料増額を求める。

答弁 増額要因があれば可能だ。

平成22年7月第369回定例会 議案等の審議結果および各議員表決

(議決結果に賛成○、反対×。欠席、除斥等による不参加一。議長(砂子三郎氏)は採決に加わらないので「/」で表示)

議案番号・議案名等		議決結果	新家竹雄	前田政美	谷口治衛	石塚淳子	沢田国夫	藤堂勝義	川端義秀	宮澤秀樹	松原啓治	山本鐵夫	島口敏榮	高岡和行	松田信子	浦井智治	本田章	常見悦郎	松井治男	畑中章男	砂子三郎	榮正夫		
議案	36 平成22年度大野市一般会計補正予算(第1号)案	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	×	
	37 平成22年度大野市下水道事業特別会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	38 大野市地域振興基金設置条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	39 大野市一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	40 大野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	41 大野市過疎対策のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	42 大野市高齢者保健福祉基金設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	43 大野市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	44 越前おおの結ステーション設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	45 大野市母子家庭生徒就学奨励給付に関する条例を廃止する条例案	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	/	×
	46 土地及び家屋の売買契約の締結について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	/	×
	47 除雪車更新事業物品売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	48 除雪車更新事業物品売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	49 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
50 専決処分の承認を求めることについて	承認	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	/	×	
51 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	
52 副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	
市会案	9 活力ある農業と農村地域社会の発展に向けた意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	
	10 農業農村整備事業予算の確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	

議案番号・議案名等		議員名(議席番号順)	議決結果	新家竹雄	前田政美	谷口治衛	石塚淳子	沢田国夫	藤堂勝義	川端義秀	宮澤秀樹	松原啓治	山本鐵夫	島口敏榮	高岡和行	松田信子	浦井智治	本田章	常見悦郎	松井治男	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
市案	11 「独立行政法人・地域医療機能推進機構法案」の早期成立を求める意見書		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	1 選択的夫婦別姓導入など民法改正を求める意見書提出に関する請願書		不採択	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	2 日本軍「慰安婦」問題の解決をめざす法制定を求める意見書採択を求める請願書		不採択	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	3 農業農村整備事業予算の確保を求める請願書		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	2 保健・医療・福祉サービス拠点施設建設工事の分離発注について		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 工事内容による電気工事としての発注について		継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 活力ある農業と農村地域社会の発展に向けた陳情書		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 有害鳥獣等による農作物被害対策に関する陳情書		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情書		継続審査	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	7 子ども手当の見直しを求める意見書の提出に関する陳情書		継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8 母子家庭等(母子、父子家庭)の高校就学奨励事業の適用追加について		継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

平成22年5月第368回臨時会 議案等の審議結果および各議員表決

(議決結果に賛成○、反対×、欠席、除斥等による不参加ー。議長(砂子三郎氏)は採決に加わらないので「/」で表示)

議案番号・議案名等		議員名(議席番号順)	議決結果	前田政美	谷口治衛	石塚淳子	沢田国夫	藤堂勝義	川端義秀	宮澤秀樹	松原啓治	山本鐵夫	島口敏榮	高岡和行	松田信子	浦井智治	本田章	常見悦郎	松井治男	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
議案	35 財産の取得について		可決	○	○	ー	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	/	×

五月臨時市議会を開催

第三六八回臨時市議会が、五月十四日に開会され「財産の取得について」(議案第三十五号)を可決しました。

この議案は、旧ツツキボウ福井株式会社大野工場跡地(七板・富塚地係)に係る土地三筆(延べ四万七千二百二十六・九五平方メートル)、工場など家屋六棟(延べ三万九千四百七十八・五九平方メートル)について、福井地方裁判所が行う期間入札により、総額八千三百万円で市が購入するものです。

七月定例市議会での討論

「土地及び家屋の売買契約の締結について」(議案第四十六号)

反対討論

不明朗な説明に賛成することはできない

榮 正夫 議員

市が八千三百万円で購入した土地・建物を、建物の屋根破損部分を補修して、一億円で進出企業に売却する契約であるが、「今回進出する企業が、屋根破損部分の補修をわざわざ市に行わせる必要があるのか」との質問に、市

は「商品価値を高めるため」とのこと。これは、土地に残る大量の鉄くずをそのままにして売却することと矛盾する。また「仮契約が予定よりもかなり遅れた理由は」についての質問には「相手のあることで答弁できない」とのことなど、不明朗な説明に終始しているため、賛成できないのは当然。

賛成討論

優良企業が進出してくれることは誠に喜ばしいことである

常見 悦郎 議員

市は、土地・建物を商品として考え、補修等により環境をある程度整えた上で売却することは「売主としての信義」と判断したと私は理解している。公害がほとんどなく、本市の林業の活性化にも寄与

するような優良企業が進出してくれることは誠に喜ばしいことである。今回の企業誘致は、本市にとって誠に画期的なことであり、地元地区住民も大いに賛同している。



旧ツツキボウ福井(株)大野工場跡地

請願

▼選択的夫婦別姓導入など民法改正を
求める意見書提出に関する請願書

提出日 平成二十二年五月十七日
提出者 新日本婦人の会福井県本部
会長 辻 照子

紹介議員 榮 正夫議員
審議結果 不採択

▼日本軍「慰安婦」問題の解決をめ
ざす法制定を求める意見書採択を
求める請願書

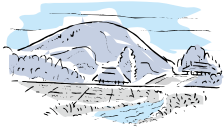
提出日 平成二十二年五月十七日
提出者 新日本婦人の会福井県本部
会長 辻 照子

紹介議員 榮 正夫議員
審議結果 不採択

▼農業農村整備事業予算の確保を求
める請願書

提出日 平成二十二年六月十五日
提出者 大野市土地改良区
理事長 西川文人 外七名

紹介議員 松原啓治議員
審議結果 採択



陳情

▼保健・医療・福祉サービス拠点施
設建設工事の分離発注について

提出日 平成二十二年三月二日
提出者 大野電業協会会長前田豊次
審議結果 採択

▼工事内容による電気工事としての
発注について

提出日 平成二十二年三月二日
提出者 大野電業協会会長前田豊次
審議結果 継続審査

▼活力ある農業と農村地域社会の発
展に向けた陳情書

提出日 平成二十二年六月二十五日
提出者 テラル越前農業協同組合
代表理事組合長
西川文人 外一名

審議結果 採択

▼有害鳥獣等による農作物被害対策
に関する陳情書

提出日 平成二十二年六月二十五日
提出者 福井県農政連大野支部
支部長 片山嘉男

審議結果 採択

▼人権侵害救済法の成立に反対する
意見書の提出に関する陳情書

提出日 平成二十二年六月三十日
提出者 日本の子供の未来を・守る会
福井支部
荒井万記子

審議結果 継続審査

▼子ども手当の見直しを求める意見
書の提出に関する陳情書

提出日 平成二十二年六月三十日
提出者 日本の子供の未来を・守る会
福井支部
荒井万記子

審議結果 継続審査

▼母子家庭等(母子、父子家庭)の高校
就学奨励事業の適用追加について

提出日 平成二十二年七月九日
提出者 大野市母子寡婦福祉連合会
会長 梅沢伴子

審議結果 継続審査

人事案件

▼副市長に下河氏の選任に同意

山本一郎副市長の辞職に伴い、新副市長として、下河育太氏(稲郷)を選任することに同意しました。

議会人事

●市議会議員補欠選挙



六月の市長選挙と同時に執行された市議会議員の補欠選挙において、新家竹雄氏(下山)が無投票で当選されました。

●常任委員会委員の選任

民生環境常任委員会委員に、新家竹雄議員が新たに選任されました。

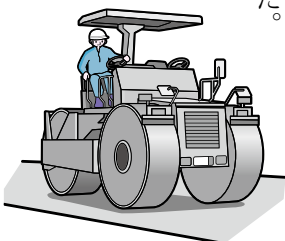
●議会運営委員会委員の選任

議会運営委員会委員に、榮 正夫議員が新たに選任されました。

●中部縦貫自動車道・国道一五八号

整備促進特別委員会の定数の変更
および委員の選任

中部縦貫自動車道・国道一五八号整備促進特別委員会の委員定数が一人増えて七人となり、新家竹雄議員が新たに選任されました。



常任委員会審査

市長から提出された議案等を審査するため、各委員会が開催されました。委員会における主な質疑等の要旨は次のとおりです。



産経建設

Q 県・市の口蹄疫対策は。

A 県では、県下すべての酪農家に対して消毒液を配布するともに、各市町の担当者等との連絡会議を六月に開催した。市においては、防疫マニュアルを改正し、万が一の場合の対応に備えている。

Q 国道一五八号の境寺・計石間の整備計画は怎么样了。

A 境寺までの整備は二十三年度で終了する予定であるが、それから先の計画はまだない。市長は事あるごとに、県に対して二十四年度以降の事業継続を要望している。

民生環境

Q 日本脳炎ワクチンの接種対象予定者は。

A 本年度三歳になる子供、既に三歳になっている子供、さらに希

望者を見込んでいます。

Q 若者出会い事業「みんなで作る、仲間と過ごす、縁じよい430ミニッツ」の内容は。

A 越前大野城築城四三〇年祭の応援プロジェクトイベントとして、九月二十五・二十六日に、一泊二日の日程で奥越高原青少年自然の家をメイン会場に、若者が自然な形で出会い交流することを目的に開催する。

総務文教

Q 「越前おおの地域づくり交付金事業」の対象団体等は。

A 公民館単位でのまちづくり推進協議会、よくする会、村づくりの会などの九団体を対象とした。「市民力」「地域力」を高める事業を対象とし、既存の事業や備品購入のみの事業は、遠慮願いたい。

Q 田村又左衛門家の文化財には、どういったものがあるのか。

A 田村家の本屋と土蔵、越前大

野城の百間堀の築山を取り込んだ庭園、そして、古文書が約五千点、什器類や掛け軸・甲冑等が約二百五十点ある。



意見書

定例会最終日に、議員から三件の意見書が市会案として提出され、八・九日の審議結果表のとおり、いずれも可決されました。各意見書の概要は次のとおりです。

▼「活力ある農業と農村地域社会の発展に向けた意見書」
(市会案第九号)

水田農業を中心とした農村地域社会の発展に向け、戸別所得補償制度の詳細の早期決定、生産性の高い優良農地の維持・確保のための対策、国内の農業・農村の振興を損なわない国際農業交渉の実施、米の需給調整・安定価格対策、新規需要米の拡大・定着に向けた広域流通の確立、安全・安心に配慮した国産農畜産物確保のための対策、多様な担い手を確保・育成するための対策、鳥獣害等対策などを、政府関係機関に対し要請するものです。

▼「農業農村整備事業予算の確保を求める意見書」(市会案第十号)
国の平成二十二年度農業農村整備事業予算が前年度比で六割を超えて削減され、農業・農村の疲弊や食料自給率のさらなる低下が懸念される

ことから、継続中の事業の円滑な実施や今後の適正な農業生産基盤の整備に対する予算措置を、政府関係機関に対し要請するものです。

▼「『独立行政法人・地域医療機能推進機構法案』の早期成立を求める意見書」(市会案第十一号)

全国の厚生年金病院・社会保険病院(福井社会保険病院を含む)を公的病院として存続させる「独立行政法人・地域医療機能推進機構法案」が先の通常国会の閉会に伴い廃案となり、このままでは、本年九月末をもって両病院グループが保有者不在の状況となってしまう。

現在、入院中の患者をはじめ地域住民に大きな不安を与えるとともに、多くの病院で診療内容の縮小や経営の悪化など、地域医療に深刻な影響を与えていること、が懸念されていることから、両病院グループを公的病院として存続させる法案の速やかな成立を、政府関係機関に要請するものです。



委員会報告

各委員会における協議事項・意見・要望等の趣旨について、それぞれの委員長は報告は次のとおりです。

●産経建設常任委員会

○農作物の鳥獣被害の防除について
河川敷がクマやイノシシの隠れ家になっているとのことから、農作物被害の防除を図るため、河川敷等での必要な対策について検討願いたい。

○観光施策について

本市観光には、イベントのマンネリ化やリピーターの確保といった課題がある。越前大野城築城四三〇年祭で実施するイベント等を十分検証し、課題が解決されることを期待する。

●民生環境常任委員会

○がん検診について
がん検診の周知と受診率向上に努められたい。

○「お出かけほっとサロン事業」について
本事業は、高齢者が住み慣れた自宅や地域で自立した生活を

送るため、交流の場の創設、閉じこもり予防を目的に実施されている。関係機関と連携し、参加率向上に努められたい。

●総務文教常任委員会

○AED(自動体外式除細動器)について
公共施設等へのAED設置数の増、緊急時の適切な取り扱いのための講習会の開催、設置場所案内標識の作成等について、全庁体制で協議されたい。

○投票所の設置場所について
公共交通機関を利用して行きやすい場所になるよう、設置箇所の増、バリアフリーの推進を含めて再検討願いたい。

●中部縦貫自動車道・国道一五八号整備促進特別委員会

中部縦貫自動車道の東野東・和泉間は、道路の予備設計とトンネルの地質調査が進められており、今秋には地元との設計協議に入る予定とのこと。国道一五八号の境寺・計石間については、五月に大野・福井両市長

により知事・県議会議長へ要望書を出したとのこと。また国道一五七号大野バイパスは、平成二十四年度の暫定二車線での供用開始を目指しているとのこと。

当委員会では、八月五日に国道一五八号(奈良瀬・境寺間)、中部縦貫自動車道永平寺大野道(小矢戸トンネル・大野インター周辺)の進捗状況について現地視察を行う。

●議会等改革特別委員会

当委員会では、委員から提案

議 会 日 誌

- ◆4月
 - 26日 議員全員協議会
- ◆5月
 - 10日 会派代表者会議、議会運営委員会
 - 14日 第368回臨時市議会
 - 17日～19日 民生環境常任委員会行政視察(埼玉県春日部市、東京都大田区・台東区)
 - 18日～20日 産経建設常任委員会行政視察(三重県松阪市・多気町・名張市、愛知県みよし市ほか)
 - 20日 全国森林環境税創設促進議員連盟合同理事会・総決起大会(東京都)
 - 26日～27日 全国市議会議長会定期総会(東京都)
 - 27日 会派代表者会議
- ◆6月
 - 12日 福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会(福井市)
 - 14日 議会運営委員会、議員全員協議会
 - 16日 全国過疎地域自立促進連盟理事会(東京都)
- ◆7月
 - 7日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会
 - 13日～29日 第369回定例市議会
 - 15日 全国森林環境税創設促進議員連盟役員会・定期総会(和歌山県田辺市)
 - 21日 中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会定期総会(東京都)
 - 29日 議会運営委員会
- ◆8月
 - 3日 三重県員弁郡東員町行政視察来訪
 - 5日 中部縦貫自動車道・国道158号整備促進特別委員会所管調査
 - 11日 福井県市議会議長会定期総会(福井市)
 - 21日 中部縦貫自動車道要望活動(福井市)



議会だより編集委員会
委員
松田信夫
田嶋国治
川端義秀
沢田智治
浦井智治

編集後記

岡田市政二期目のスタートは順調に滑り出した。越前大野城築城四三〇年祭のイベントが秋に向け数多く企画されている。

懸案山積の市政運営も市長選挙後のかじ取りがカギになる。キーワードは「市民主体の行政と協働」。そこに行政と市民に乖離(かいり)があってはならない。議会もまた。

議会だよりに、ご意見をお寄せください。

されたテーマについて論議を行うこととしている。今回は九項目が提案され、その中から「常任委員会の委員長報告に対する理事者の検討結果報告について」「市議会に対する市民の意識調査について」の二項目に関して論議を行った。いずれも、委員会としての最終的な意見集約には至らず、次回以降、継続して論議を進めることとした。